

新松田駅周辺整備事業での

町の考え方は



質問者
井上 栄一 議員



質 駅周辺整備事業を再開発事業として都市計画決定を行う根拠は。

答 都市再開発法に基づき、公共性の高い事業として遂行性、水準を確保するため、都市計画決定が必要である。

質 再開発事業で進める方針は、町が主導したものでないか。町の主体的な取り組みは。

答 地権者の方々の考えを尊重して進めていく。また、この事業は、町の一大事業であり地域の

方々にもご理解いただきながら進めていかなくてはならない事業である。

質 開発事業の公益的施設の町財政負担は。

答 公益的施設は保留床の取得により設置を検討しており、町の財政負担は3億9000万円と想定している。なお、事業全体の町負担の総額は、約30億7500万円。

質 現在再開発事業の区域に住む地権者が、少数の意見でも丁寧に聞い

A



再開発事業に反対の方々に対しても、ご理解いただけるように進めていく

回答（町長）

てほしい」と訴える人がいた。再開発事業に反対の方たちへの町の対応は。

答 可能な限り寄り添った対応をとり、状況を確認しながら、今年11月に予定している都市計画決定に向け、住民説明会や必要に応じた対応を進めて行く。

質 地権者の個別の事情に配慮した対応は。

答 地権者の将来設計も考慮し、可能な限りの支援を行う。

松田町に係る

道路の整備について



質問者
吉田 功 議員



質 富士・足柄道路トンネル建設期成同盟会が発足するなど、近隣市町では、国道や県道の整備や計画が進んでいる。国道二四六号バイパス路線が計画されているが、その

先、寄地区を通過し松田惣領地区に抜ける道路計画を、近隣市町と協力して国にはたらきかける考えはないか。

答 新東名高速道路や二四六号バイパス整備の進捗など、さまざまな要因を踏まえて、更なるバイパスの延伸についての構想や二四六号現道の拡幅などを含めた検討を行う。

質 県道七二一号は、松田町健康福祉センターで終わってしまっている。国道二四六号と接続す

A



国・県等の関係機関と連携を密にして、必要に応じた対応を行う

回答（町長）

るような延伸について、近隣市町と協力して国にはたらきかける考えはないか。

答 何も考えを持たないのではなく、大きな考え方として周りの市町どのように連携していくのかも含めて検討していく視点が必要であると考えている。

質 駅周辺の道路整備についてどのように考えているか。

答 「新松田駅周辺整備基本構想・基本計画」の中で関連道路の整備について位置付けている。

質 町道三三線（ロマンズ通り）は12mの拡幅となるのか。

答 町道三三線は幅員12mを目指して順次整備していく。



酒匂川左岸道路